

令和6年度

事業計画書

公益財団法人立川市地域文化振興財団

目 次

基 本 方 針	1
定 款 事 業 別 体 系 図	2
事 業 区 分 別 事 業 計 画	3

基本方針

令和6年度は、立川市の第4次文化振興計画及び、当財団の第2次中期経営計画の最終年として、5年間の活動の総括をするとともに新たに作成される第5次文化振興計画を踏まえた第3次中期経営計画の策定準備を進めます。

立川市の学習館、生涯学習推進センター及び立川観光コンベンション協会などの各団体と連携強化し、調整を図りながら財団の役割を再認識し、立川市の文化振興を推進します。

財団の基本理念「市民が人や地域との絆を深め、笑顔あふれる心豊かな生活を送るために、私たちは文化芸術活動を広め・育て・支えます」に基づき、事業を積極的に進めます。また、市民の文化活動において財団の支援のあり方を探求します。

昭和49年1月に開館した立川市市民会館は50周年を迎えます。優れた芸術に触れる機会を提供する「鑑賞事業」では記念事業を実施します。市民が気軽に参加や体験することで文化芸術の普及を図る「普及事業」、若手アーティストや市民の文化活動を支援する「支援事業」、地域コミュニティの活性化を図る「地域コミュニティの活性化及び振興事業」等、それぞれに設立36年目となる財団の長年の経験・ネットワークを生かし、良質な事業を実施します。また、立川市の地域資産である、「邸田丹陵（むらた・たんりょう）」などを調査し、その活用を図りアーバンツーリズムへの展開を図ります。

職員には、芸術・文化に関する専門的な知識を深めながら、市との政策連携、市民や地域、関連分野との連携を推進できる総合的なスキルを備えた人材の育成に引き続き取り組みます。

事業の概要

1 文化芸術の鑑賞並びに活動の普及及び支援に関する事業

【鑑賞事業】クラシックジャンルでは沼尻竜典指揮・東京交響楽団によるフレッシュ名曲コンサート、徳永二男の「作曲家の謎！」シリーズ、国際的に活躍する世界的ヴァイオリニスト、ヤメン・サーディの来日公演や、立川ゆかりの及川浩治ピアノリサイタルなどを、ポピュラージャンルでは平原綾香コンサート、サンドアートと音楽の世界などを、演劇古典芸能鑑賞では松竹大歌舞伎、新春たちかわ寄席、立川をテーマとしたトークライブ「キン・シオタニ」公演などを開催します。

【普及事業】30回目となる市民の絵画作品を展示する「アートギャラリー展」を記念企画と共に開催します。引き続き市内小学校全19校に音楽鑑賞事業を実施するほか、落語やアート、ダンスのキャラバン事業を実施します。また、市民会館ロビーや地域で開催する「水曜コンサート」「どこでもステージ」など文化芸術の普及活動を実施します。

【支援事業】2日間で160組以上の奏者が参加し市内各所で開催する「第13回立川いったい音楽まつり2024」を市民実行委員会とともに実施し、市民の文化芸術活動を支えます。また立川市の文化資産であり、30周年を迎える「ファーレ立川アート」の普及事業を支援します。

【広報宣伝・友の会事業】様々な情報ツールを活用し、財団や市民の文化芸術活動の情報を発信します。

2 地域コミュニティの活性化及び振興に関する事業

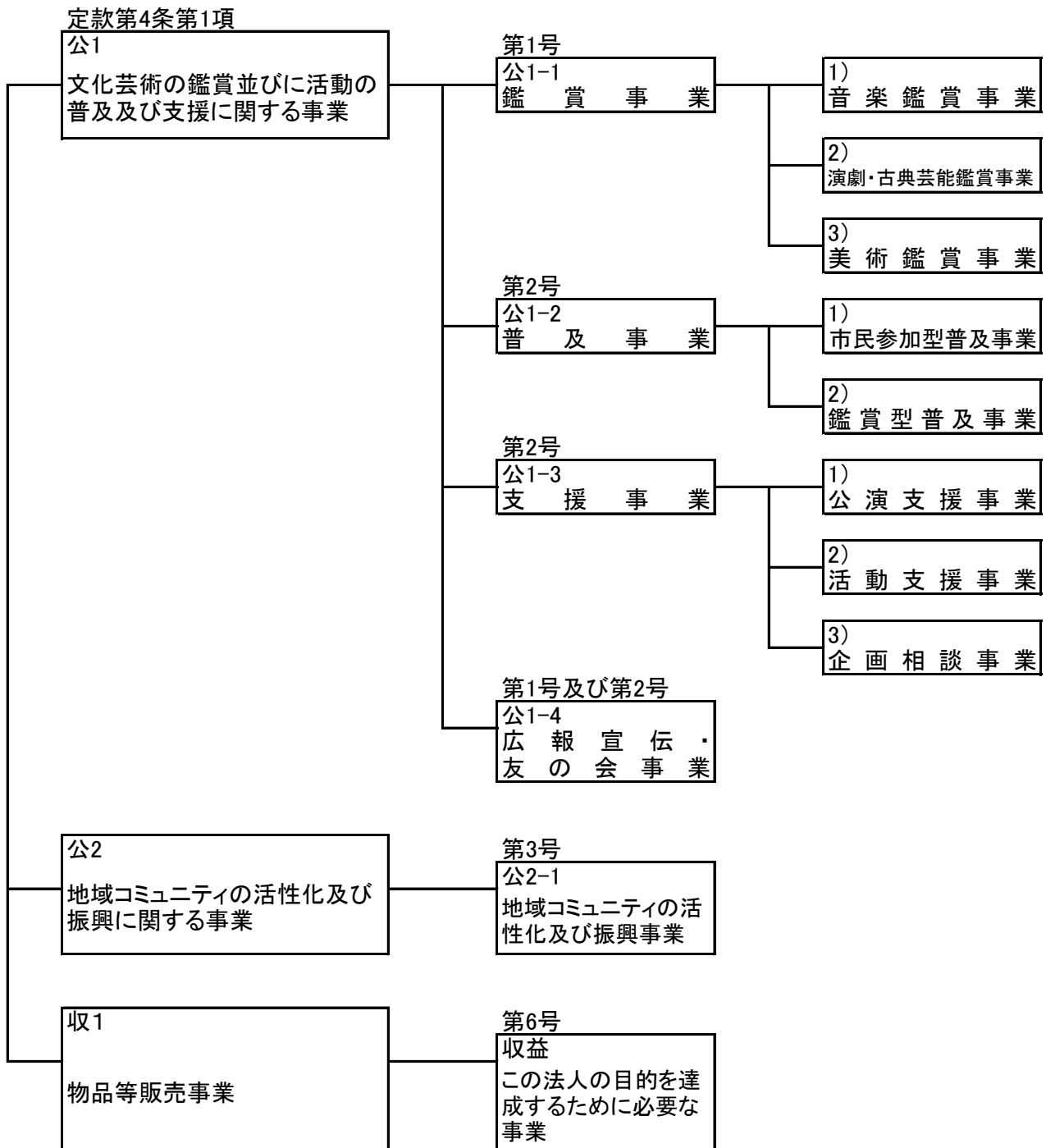
- ・「第36回立川よいと祭り」「たちかわ楽市2024」の協働事務局を引き続き担当します。
- ・「たちかわワークショップフェスタ2024」では音楽・クラフト・ダンスなど多くのワークショップを実施します。

3 人材育成の強化と、法令等に基づく的確な法人運営

- ・立川市、全国公立文化施設協会等の研修へ積極的に参加するほか、職員自身が研修テーマを決め、大学の公開講座などの外部研修に参加する制度を継続実施します。
- ・コンプライアンスの遵守と個人情報の管理を徹底し、信頼される財団を目指します。

令和6年度

定 款 事 業 別 体 系 図



事業区分別事業計画

注1) 予算額は費用を記載

注2) 実施場所の大・小ホール、展示室、サブホール、市民ロビーは、たましんRISURUホール内施設

1 文化芸術の鑑賞並びに活動の普及及び支援に関する事業

公1-1 鑑賞事業（定款第4条第1項 第1号）【公益目的事業】

1)音楽鑑賞事業		予 算 額	
		22,492 千円	
事業概要	財団の行動指針にあるように、多くの市民が心のやすらぎと明日への活力を得られるよう、様々な事業を実施していく。立川市市民会館開館50周年記念公演を開催し、市民会館や財団のPRにも繋げていく。 ●クラシックジャンルは、世界最高峰「ウィーン国立歌劇場管弦楽団」のコンサートマスターに就任したヤメン・サーディの外来招聘公演を行う。 ●小ホール公演では、人気シリーズの「作曲家の謎」を年4回（vol.11～14）、また、名曲の系譜をたどる「外山啓介ピアノ・リサイタル」を開催する。 ●フレッシュ名曲コンサートは、2023年日本音楽コンクール第1位、同年東京音楽コンクール弦楽部門第2位及び聴衆賞を受賞したヴァイオリニスト・水野琴音を迎え、日本を代表する指揮者・沼尻竜典率いる東京交響楽団とメンデルスゾーンの協奏曲を演奏する。 ●ポピュラージャンルは、女性総合センターアイムホールで共同主催としてやぎりんトリオを開催するほか、大ホールでは、共同主催にて平原綾香のコンサートを開催する。初の試みとなる企画性の高い事業として、「サンドアートと音楽の世界」を開催する。		
令和6(2024)年度の予定			
内 容	実 施 日	実施回数	実 施 場 所
クラシックジャンル(主催)		16回	
及川浩治ピアノ・リサイタル	4月20日		大ホール
外山啓介ピアノ・リサイタル	7月6日		小ホール
ヤメン・サーディ ヴァイオリン・リサイタル来日公演	7月7日		大ホール
栗田桃子タイムスリップコンサート※	9月15日・2月2日		小ホール
フレッシュ名曲コンサート事前キャンペーン	10月30日		小ホール
水野琴音ヴァイオリン・プレコンサート			
フレッシュ名曲コンサート	11月30日		大ホール
沼尻竜典指揮 東京交響楽団演奏会			
国立音楽大学コンサート	3月下旬		大ホール
徳永二男「作曲家の謎！シリーズ」(全4回)	6月15日・9月28日 12月7日・3月8日		小ホール
ポピュラージャンル(主催)			
やぎりんトリオ※	4月21日		アイムホール
サンドアートと音楽の世界	7月28日		大ホール
平原綾香※	10月20日		大ホール
調整中	未定		大ホール
※は共同主催事業			

2)演劇・古典芸能鑑賞事業		予 算 額		
		10,325 千円		
事業概要	ミュージカルやトークライブ、伝統芸能など、幅広い年代で多くの方が鑑賞できる事業を実施する。 ●毎年好評を得ている劇団東少の子ども向けミュージカルは「アルプスの少女・ハイジ」を上演する。 ●イラストレーター、キン・シオタニによる立川を実際に歩いて感じたことをイラストで紹介するパフォーマンス&トークライブを実施する。 ●松竹大歌舞伎は、萬屋の中村錦之助と中村隼人親子らが出演する。 ●新春たちかわ寄席は、イベンターと共同主催で取り組み、話題や旬の落語家を軸に幅広い年代の方に新春の初笑いを提供する。 ●笑ホール寄席は、人気・実力を兼ね備えた出演者による二人会等を年3回開催する。			
令和6(2024)年度の予定				
内 容		実 施 日	実施回数	実 施 場 所
演劇舞踊ミュージカル等(主催)			7回	
劇団東少「人魚姫」※		5月11日		大ホール
キン・シオタニのたちかわさんぽライブ		8月4日		アイムホール
古典芸能等(主催)				
松竹大歌舞伎		11月2日		大ホール
新春たちかわ寄席※		1月		大ホール
笑ホール寄席(3回)		6月28日・10月・2月		小ホール
※は共同主催事業				

3)美術鑑賞事業		予 算 額		
		1,152 千円		
事業概要	音楽や舞台芸術と同じく、優れた美術作品を鑑賞することは市民の文化芸術活動を促進する重要な要素と捉え、その機会づくりの事業を実施する。 ●東京都内の美術館・博物館等にて、展覧会の学芸員によるレクチャーを受け理解を深めながら鑑賞する現地集合・解散型のツアーを定期的に開催する。 ●小学校ファーレ立川アート鑑賞教室では、市の芸術作品であるファーレ立川アートを身近に触れ、親しんでもらい、街の魅力を感じる機会を立川市の小学5年生に提供する。 ●歴史画家として立川で絵筆を執った邨田丹陵に焦点をあて、地域資産の活用とアーバンツーリズムに関連した「続・邨田丹陵を学ぶ会」を開催する。			
令和6(2024)年度の予定				
内 容		実 施 日	実施回数	実 施 場 所
美術鑑賞事業		通年	3回	都内美術館・博物館等
小学校ファーレ立川アート鑑賞教室		通年	19回	ファーレ立川
続・邨田丹陵を学ぶ会		9月	1回	会議室
※は共同主催事業				

公1-2 普及事業（定款第4条第1項 第2号）【公益目的事業】

1)市民参加型普及事業		予 算 額		
		2,522 千円		
事業概要	展示及び公演等に市民が参加できる事業として、絵画・演劇・オペラ・吹奏楽のジャンルで実施する。			
	●「たちかわアートギャラリー展」は、はがきサイズの作品から受け付けることを継続し、初心者でも応募しやすい環境作りを行うとともに、若年層への顕彰としてU35賞、U25賞を設け応募を呼びかける。第30回の記念事業として、審査員による特別展示や過去大賞受賞者による展示を計画する。			
	●「たちかわ演劇祭」は、実行委員会で運営し、演劇、ミュージカル、オペラ等の団体が参加する。			
	●「立川市民オペラ」はプッチーニ作曲「ラ・ボエーム」を上演する。			
	●国立音楽大学の学生を講師とした「小学生吹奏楽クリニック」を通年で実施する。			
令和6(2024)年度の予定				
内 容		実 施 日	実施回数	実 施 場 所
第30回たちかわアートギャラリー展		5月18日～26日	1回	展示室・サブホール
第30回たちかわアートギャラリー展入賞者展		5月27日～6月3日	1回	市役所多目的プラザ
第32回たちかわ演劇祭		8月	16回程度	小ホール
立川市民オペラ2025 プッチーニ作曲「ラ・ボエーム」		3月22日・23日	2回	大ホール
小学生吹奏楽クリニック		通年	5回程度	市内小学校

2)鑑賞型普及事業		予 算 額		
		7,093 千円		
事業概要	子どもたちに広く平等に芸術に触れる機会を提供するため、立川市内の小学校への訪問事業を継続する。また、遠出しづらい方や幼い子ども達に、地域学習館や学習等供用施設、福祉施設などでコンサートなどを実施することにより文化芸術を身近に感じていただく機会を増やす。			
	●子どもたちの心豊かな情操を育む「小学校演劇体験事業」は、立川市教育委員会と連携し、引き続き親子で楽しめる演劇鑑賞の機会を提供する。			
	●「水曜コンサート」はアーティストの発表の場としても開催し、継続して市民の鑑賞機会の提供に取り組む。			
	●「どこでもステージ」は、立川市内各所でとりわけ高齢者に癒しの時間と文化芸術に触れる機会を提供する。			
	●「学校訪問事業」は、音楽、落語、アート、ダンスを提供する。音楽においては、小学校音楽鑑賞事業として立川市教育委員会と連携し、音楽家を派遣し実施する。			
●「国立音楽大学アイムコンサート」は学生支援を目的として、国立音楽大学と協力して実施する。				
令和6(2024)年度の予定				
内 容		実 施 日	実施回数	実 施 場 所
小学校演劇体験事業		10月27日	1回	大ホール
水曜コンサート		月1回水曜日	12回	市民ロビー
どこでもステージ		通年	5回程度	市内学習館・ 学習等供用施設等
学校訪問事業「音楽・落語・アート・ダンスキャラバン」		通年	40回程度	市内小学校
国立音楽大学アイムコンサート		通年	4回程度	アイムホール

公1-3 支援事業（定款第4条第1項 第2号）【公益目的事業】

1)公演支援事業		予 算 額		
		1,100 千円		
事業概要	市民や若手アーティストの多様な文化芸術活動を支援するとともに、文化芸術の育つ環境づくりを図る。			
	●「立川いったい音楽まつり」は市民と協働し、実行委員会形式で運営する。会場数をコロナ禍以前に少しずつ戻して行く。 ●「市民団体共催・後援」は、公演やイベント開催を広報活動などで支援する。 ●「アーティスト支援」は、多摩フレッシュ音楽コンサート入賞者のリサイタルや自主公演を支援するほか、国立音楽大学の学生によるアィムコンサートの開催等を支援する。 ●東京多摩公立文化施設協議会の主催で実施する「多摩フレッシュ音楽コンサート」の事務局を担い、「ピアノ部門」を開催する。			
令和6(2024)年度の予定				
内 容		実 施 日	実施回数	実 施 場 所
第13回立川いったい音楽まつり2024		5月18日・19日	1回	市内各所
市民団体共催・後援		通年	—	大・小ホールほか
アーティスト支援事業		通年	5回程度	小ホール・アィムホールほか
多摩フレッシュ音楽コンサート「ピアノ部門」		4月5日(予選) 7月11日(本選)	1回	大ホール

2)活動支援事業		予 算 額	
		－ 千円	
事業概要	市民や立川市を構成団体とする団体が行う多様な文化芸術活動を支援する。 ●立川文化芸術のまちづくり協議会が行う事業を通じて、不特定多数の市民の文化芸術活動を支援する。 ●30周年を迎える立川の文化的資産であるファーレ立川アートの維持管理を行うファーレ立川アート管理委員会の活動を支援する。 ●立川市内での質の高い演劇作品・演劇空間の創造と発信、人材の育成を目指し結成された「立川シアタープロジェクト」の活動を支援する。		
令和6(2024)年度の予定			
内 容	実 施 日	実施回数	実 施 場 所
立川文化芸術のまちづくり協議会	通年	－	
ファーレ立川アート管理委員会	通年	－	
立川シアタープロジェクト実行委員会	通年	－	

3)企画相談事業		予 算 額		
		7,308 千円		
事業概要	立川市から受託し、出演者の提案及び公演を実施する。 ●立川市主催事業の「高齢者のつどい」はステージ公演について、参加者が楽しめる企画を提案、実施する。会場は、たましんRISURUホールで4回公演を行う。			
令和6(2024)年度の予定				
内 容		実 施 日	実施回数	実 施 場 所
高齢者のつどい		10月10日・11日	4回	大ホール

公1-4（定款第4条第1項 第1・2号）【公益目的事業】

広報宣伝・友の会事業		予 算 額		
		16,886 千円		
事業概要	「わかりやすく、丁寧に」を意識しながら、広報宣伝や友の会制度により財団事業の周知を充実させ、来場者の増加を図る。市民会館開館50周年記念公演の特集なども行う。			
	●情報紙「ムーサ」は、ポストコロナの時代に文化芸術の価値を伝えていく。新聞折込配布については、購入者情報を元に、配布対象地域を毎号変更していく。広告受注は、掲載枠数を増やし、多くの広告主の要望に応じ、広告料収入の増額を図る。			
	●「ホームページ」は、見やすさ、伝えやすさを感じられる投稿をリアルタイムで行っていく。			
	●バナー広告受注は、公益性を鑑み、広告掲載審査基準に準じた運営を図る。			
	●「SNS」については、X(旧 Twitter)、Facebookによる情報の拡散を図り、フォロワー数を増やしていく。			
	●「ムーサ友の会」については、インターネットによる入会及びチケット購入の利便性をPRし、会員及び来場者の増加に努める。			
●「市内広報掲示板」は、市民への周知方法の一つとして適正な管理運営を行う。				
令和6(2024)年度の予定				
内 容		実 施 日	実施回数	実 施 場 所
情報紙「ムーサ」		隔月(奇数月)	6回	市内及び周辺市町村
財団ホームページ・SNS運用		通年	—	—
ムーサ友の会		通年	—	—
市内広報掲示板		通年	—	—

2 地域コミュニティの活性化及び振興に関する事業
公2-1（定款第4条第1項 第3号）【公益目的事業】

地域コミュニティの活性化及び振興事業		予 算 額		
		986 千円		
事業概要	イベントや表彰などを通して、人と人を結ぶコミュニティ事業に積極的に取り組む。			
	●「第36回立川よいと祭り」は、秋季大型イベントとして実行委員会で検討を重ねていく。			
	●「たちかわ楽市2024」は、安定的な収入確保を実行委員会で検討する。			
	●「新春子ども風あげ大会」は子ども会連合会との連携事業として、子どもたちが日本の正月の風物詩に触れるとともにコミュニティ形成の場として開催できるよう検討を続ける。プレスリリースを積極的に活用することで、開催前、開催後ともPRできるようにしていく。			
	●「コミュニティ奨励賞」は、文化芸術での顕著な成績や地域貢献活動に対し、その個人や団体を表彰し市民の関心を深めるとともに、地域活動の活性化を図る。			
	●「たちかわワークショップフェスタ2024」は、講師を市民公募し、音楽・クラフト・ダンスなど自主企画を提案してもらい、参加者を募る。			
	●「キッズワークショップ」は、子どもたちや保護者などの心の解放を行い、文化芸術への関心を深めるため、様々な内容で開催する。東京文化会館とのミュージックワークショップやアーツカウンシル東京とのキッズ伝統芸能など各団体との連携したプログラムを実施する。			
令和6(2024)年度の予定				
内 容		実 施 日	実施回数	実 施 場 所
第36回立川よいと祭り		10月13日	1回	サンサンロード
たちかわ楽市2024		11月9日・10日	1回	国営昭和記念公園
新春子ども風あげ大会		1月	1回	多摩川河川敷市民運動場
コミュニティ奨励賞		3月(表彰式)	1回	会議室
たちかわワークショップフェスタ2024		未定	1回	展示室、サブホール ほか
キッズワークショップ		通年	5回程度	展示室、サブホール ほか

3 物品等販売事業

(定款第4条第1項 第6号)【収益事業】

この法人の目的を達成するために必要な事業		予 算 額	
		一 千円	
事業概要	出演者等が公演開催時に、ホールホワイエでCD等の公演関連商品を販売した際、物品販売手数料を徴収する。		
令和6(2024)年度の予定			
内 容		実施時期	実 施 場 所
CD等物品販売		通年	大・小ホール・サブホール アイムホールほか